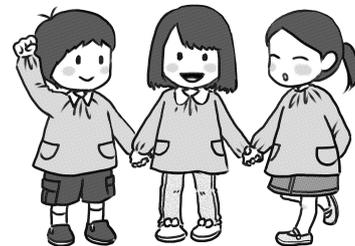


TASP

Transitional Assessment Sheet for Preschoolers

■ TASP (タasp) って？

TASP (タasp) は、保育園・幼稚園・認定こども園の「要録」作成の際に、客観的な基準で子どもの発達を評価できるシートです。



■ 客観的な発達の評価とは？

TASPは、保育現場に最適化した評価シートとして広く使っていただけるように、開発チームによってさまざまな試行の上でまとめられたものです。就学前に見られた子どもの発達の特徴と就学後の不適応の関連について、10年に渡って4,000名以上の子どもたちを、保育園から中学校まで追跡調査しました。こうした大規模な調査によって、一般的な子どもの特徴と比べて、対象となる子どもがどのくらい発達し、どのような支援が必要か、チェックすることが可能となりました。

TASPは、従来の保育士・幼稚園教諭の文章による記述と併せることで、より客観的に子どもの発達を評価できるツールです。

■ 簡単！ TASPの4ステップ

① 対象となる子どもについて、発達で特に着目すべき7つの領域(合計35項目)の質問に答える。



①②は記録用紙、③は記録用紙を解説書と照らし合わせて行い、④は記録用紙の判定結果シートに

② 合計点を出す。

③ 学年・生まれ月に合った判定表(解説書の30-32ページ)を見て、その子の各領域の合計点が「標準的水準」「境界水準」「要配慮水準」かを判断する。

④ 判定結果シートに結果と、それに関わる子どもの様子を記入する。

| 領域 | 得点 | 標準的水準 | 境界水準 | 要配慮水準 |
|--------|----|-------|------|-------|
| 多動・不注意 | ● | ● | ● | ● |
| 対人社会性 | ● | ● | ● | ● |
| 運動 | ● | ● | ● | ● |

TASP 判定結果 (一部)

■ TASPの活用

TASPでは、7つの発達領域だけではなく、**落ち込み・抑うつ**の傾向(内在化問題)、**イライラ・攻撃性**の傾向(外在化問題)、**学業不振**の傾向という、その後の子どもの不適応と関連する指標も得点として算出できます。次年度の担任や就学先の小学校に引き継ぐことで、**子どもの支援計画**や**小学校での小1プロブレム(学級崩壊等)**の予防に役立てることが可能です。

★ 詳しくは、**TASP**保育・指導要録のための発達評価シート 解説書 をお読みください。

ご購入は、**購入申し込み書** に必要事項を記入して、ファックスにて 03-5682-7157 にお送り下さい。

価格：解説書(34ページ)5部セット1620円、記録用紙(8ページ)20部セット2160円、解説書1部 + 記録用紙20部セット2484円
別途送料540円(いずれも税込)

保育・指導要録のための発達評価シート開発チーム

監修者 辻井 正次 開発責任者 伊藤 大幸 開発副責任者 浜田 恵

スペクトラム出版社